# 参考資料編

- 1.用語の解説
- 2. 関連情報



## 参考資料1 用語の解説

-		
ア	アセトアルデヒド	悪臭防止法に定められた特定悪臭物質の 1 つで刺激的な青臭いにおいが
		ある。主な発生源として化学工場、タバコ製造工場や加熱工程を持つ工
		場などがある。
	圧力損失	通気したときの抵抗による圧力低下をいう。油の付着などによりフィル
		ターなどが詰まるとガスが通過しにくくなり、吸い込みが悪くなる。
	アンモニア	悪臭防止法に定められた特定悪臭物質の 1 つで刺激がある。主な発生源
		として畜産事業場、化製場、し尿処理場、堆肥化施設がある。
	イニシャルコスト	装置導入時に必要となる費用のこと。装置本体、工事費などが含まれる。
	オイルセパレーター	油分を分離するための機器。
	オイルミスト	油分の微粒子で空気中にあるもの。
	オゾン	常温で特有の臭気をもつ気体で酸化力が強く、空気中の汚染物質の浄化
		などに利用される。
カ	簡易測定法	大まかな分析結果を得るための簡便な測定方法。臭気の場合、ニオイセ
		ンサーや検知管の使用などがある。
	吸着法	臭気を各種吸着剤が充填されている吸着塔へ通過させ、吸着剤の物理的、
		化学的吸着能力によって臭気成分を捕捉して脱臭する方法。活性炭の利
		用などが代表例である。
	グリス	半固形化した油分。油分そのものを指すこともある。
	グリスキャッチャー	厨房施設に付属するグリス捕集装置。
	グリスセパレーター	厨房施設に付属するグリス分離装置。
	グリストラップ	排水等からグリス(オイル)が外部に流出しないためのトラップ。
	グリスフィルター	厨房施設に付属するグリス除去装置。
サ	三点比較式臭袋法	悪臭防止法に定められた臭気指数(臭気濃度)を算定する際に用いられる
		においの判定試験方法。
	臭気指数	人の感覚に近づけるため、臭気濃度を以下のように変換した尺度。
		臭気指数 = 10×L o g(臭気濃度)
	臭気濃度	対象空気をにおいのない清浄な空気で希釈したとき、ちょうどにおわな
		くなるときの希釈倍率をいう。
	スクラバー	排ガス中の臭気成分、有害ガス成分、粉塵などを液滴又は液膜と衝突又
		は接触させ粒子を液中に捕集して浄化する装置。
	生物脱臭	臭気を微生物が生息する固相や液相中に送り込み、臭気成分を生物分解
		して無臭化する方法。
	ゼオライト	特異な結晶構造を持つ粘土鉱物。結晶内部に空洞がありガス成分を容易
		に吸着する。アンモニア吸着用の脱臭剤として用いられる。

	セラミック触媒	非金属性無機物を焼結(焼き固めること)または燃焼してつくった触媒。
タ	ダクト	局所排気したガスを屋外の浄化装置や煙突まで誘導するための配管。
	多孔質セラミック	保水性と比表面積が極めて高く、微生物の生息に適しているため生物脱
		臭の充填担体に用いられることが多い。
	脱臭効率	脱臭装置の入口・出口の臭気濃度または臭気指数の差を用いて算出する
		においの除去率のこと。
	電気集塵機	コロナ放電(高い電圧をかけ空気中に放電すること)を利用して排ガス
		中の微粒子に電荷を与え、静電気力によって粒子を取り除く装置のこと。
ナ	ニオイセンサー	大気中の臭気を検知して測定するためのガスセンサー。簡易測定法の一
		っ。
Л	 光触媒	光(紫外線)照射下で臭気物質等の酸化分解を促進させる触媒のこと。
	フード	局所的な発生源から発生する有害ガス、臭気、粉じんなどを効果的に吸
		引捕集するための吸引口のこと。
	プラズマ	気体の温度が上昇すると気体の分子は解離して原子になり、さらに温度
		が上昇すると原子核のまわりを回っていた電子が原子から離れて、正イ
		オンと電子に分かれる。この現象は電離と呼ばれ、電離によって生じた
		荷電粒子を含む気体をプラズマと呼ぶ。
	プレフィルター	比較的粗大な粒子を取るためのフィルター。細かい粒子を取るためのフ
		ィルターの前部に設置する。
	ブロア	空気を強制的に送出する機械。脱臭したい空気を脱臭装置に導くために
		用いる。
マ	前処理	本体装置が有効に作動するようにガス中の妨害成分(ダストやミストな
		ど)を取り除いたり、ガスの冷却などを行うこと。
	ミスト	気体中に含まれる液体の微粒子。
ヤ	ユーティリティ	装置を運転する上で必要な電気、水道などをさす。
	油煙	粒径の比較的小さなオイルミスト。
	油塵	粒径の比較的大きなオイルミスト。
ラ	ラボ試験	実際の現場ではなく、実験室内などで行う小規模な試験のこと。
	ランニングコスト	装置を運転・管理する上で必要となる費用。メンテナンス費用も含まれ
		<b>ప</b> 。

#### 参考資料 2 関連情報

#### <臭気対策関連情報>

### 参考図書

- ・ 悪臭防止技術の手引き(15 飲食店編) 環境庁大気保全局大気生活環境室編集 (社)臭気対策研究協会(現、(社)におい・かおり環境協会)
- ・ 臭気の測定と対策技術 石黒辰吉著 (オーム社)
- ・ 日経レストラン (日経 BP 社)

#### 各種問い合わせ先

悪臭の苦情については、最寄りの市町村にお問い合わせください。専門的なことがらは、以下の機関でも受け付けています。

△ 臭気全般について

(社)におい・かおり環境協会 <a href="http://www.orea.or.jp">http://www.orea.or.jp</a>/ TEL03 - 5835 - 0315

△ 脱臭設備について

(社)日本産業機械工業会 <a href="http://www.jsim.or.jp">http://www.jsim.or.jp</a>/ TEL03 - 3434 - 6820

△ 臭気測定について

(社)日本環境測定分析協会 <a href="http://www.jemca.or.jp">http://www.jemca.or.jp</a>/ TEL03 - 3878 - 2811

△ 臭気判定士について

臭気判定士会 <u>http://www.ojta.com/</u> TEL03 - 5835 - 0315

((社)におい・かおり環境協会内)

## 融資制度について

臭気対策で多くの費用がかかる場合には、施設の悪臭除去のためや環境改善を図るための費用として、融資制度を活用することも可能です。また、地方自治体によっては、独自に中小企業を対象とした融資制度もありますので、最寄りの都道府県や市町村にお問い合わせください。

日本政策投資銀行<a href="http://www.dbj.go.jp/">http://www.dbj.go.jp/</a>TEL 03 - 3244 - 1620中小企業金融公庫<a href="http://www.jfs.go.jp/">http://www.jfs.go.jp/</a>TEL 03 - 3270 - 1260中小企業総合事業団<a href="http://www.jasmec.go.jp/">http://www.jasmec.go.jp/</a>TEL 03 - 3270 - 2371